

# 第885号

令和4年2月25日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

# 教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)



## 大人はしあわせですか？

佐渡総合病院小児科  
医長 岡崎 実

診察室で子どもと二人で話しているとドキッとさせられる質問が飛んでくることがあります。特に、自分の居場所を実社会に探し始める10歳前後の子どもたちは、ナイフのように鋭い言葉をなにげなく突き出し、どう答えるのかじっと私の目を見つめています。「何でこんなこと聞いてくるのだろうか？」と考える暇はありません。

「大人はしあわせですか？」みなさんならどうお答えになるでしょう。

幸せかどうかは人によって違うし測れるものでもない。この子はこれまで失敗ばかりでまわりに認められようと必死だったはず。自分でも分かっているのについて大人が気に入らないことをしてしまっただけで怒られ、不機嫌な大人の顔ばかりを見てきた。

自分になろうとしている大人って、幸せではないんじゃないかと不安になったのでしょうか。

私も老獺になりました。余裕でにっこり、迷いなく断言します。

「しあわせだよー」



## 言葉を育む「遊び」とは

子ども若者相談センター  
言語聴覚士 櫻庭 千果

言葉を育むためには、まずは貴方が遊びなさい。この言葉が、意外と奥が深かったのだと知ったのは子どもたちと関わってからでした。

言葉やコミュニケーションが育まれる「遊び」とは何でしょうか。一方的に提供される遊びでは、言葉は育まれません。子どもが見つめる先、手を伸ばす先、おもちゃをさわるのか、さわらないのか。さわった後はどんな反応なのか。時には、予想と違うことが多々あります。もしかしたら、私たちの知らない遊び方が頭の中にあるのかもしれません。同じ遊び方でも感じる感覚は人それぞれ。楽しく遊ぶことって、意外と難しいんです。

しかし、楽しく遊んだ中で学んだ言葉やコミュニケーションの能力は、学習の基礎を作っていく、今後成長していくための確かな土台となります。そして、そこで得られた力は、その子にとって何よりもずっと身に付く力になるのではないのでしょうか。

この子が楽しむ「遊び」は何だろう、そう頭を悩ませる毎日です。



## 親の会コーナー



### 終了者懇話会のお誘い

佐渡ことば・こころの教室では、「終了者懇話会」を開催しています。今年度終了となった子どもとその保護者の方を対象に、これまでの頑張りを称え、教室に関係するみんなで終了を祝うための会です。今年度は現在のところ、感染症対策を行いながら実施する予定です。



終了式では、「終了証書」授与が一人一人に行われます。懇話会は、同じように終了する仲間と語り合う場になります。

終了される皆様、ご出席をお願いいたします。

○日時 3月18日(金) 15:30~16:30

○場所 金井小学校

新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合もあります。その場合は参加申し込みをされた方にご連絡いたします。

### 終了者のおうちの方より

(一部抜粋)

- 教室を通して子どもが成長できたことを本当に感謝しています。不安定な言動、行動があっても確実に成長をしている子どものサポートを、親としてしっかりしていきたいと思います。
- 通級教室へ行った日には、親身になり娘の悩みを聞いてくださり、娘の会話・笑顔が増え嬉しく思いました。ありがとうございました
- 自分の感情をコントロールできずに悩んでいた頃に比べると、見違えるほど成長し、笑顔も増え、安定した学校生活を送れるようになりました。先生のように子どもの心に寄り添える人間になりたいと今更ながら思っています。

## ことば・こころ応援団



今回のことば・こころ応援団は、本間雅美先生です。本間先生は、今年から始まった通級OJT研修のため、毎週火曜日に金井小学校で、担当者と一緒に児童と学んだり、通級に関わる仕事を行ったりしました。この1年間を通した研修での想いを寄せていただきました。

### 『当たり前』の中のチャンスの大切さ

佐渡市立羽茂小学校

本間 雅美

今年度、発達通級指導教室のOJTとして研修をさせていただきました。

衝撃的だったのは、数回の指導でみるみる集中力を身に付けて学習できるようになったり、学習ルールを守ろうと自ら努力できるようになったりするなどの子どもたちの変化でした。

それは、今まで当たり前だと思ってやってきた指導や、子どもたちが分かっているだろう、家庭でやってきているだろうと、私が思い込んできたことの一つ一つを見直す大きなきっかけとなりました。今までの『当たり前』の中に、膨大な指導のチャンスがあり、かくれた大切さがあり、それを積み重ねることが子どもたちに大きな変化をもたらすことを学べたこの機会を有難く思っています。また、チャンスがあるならば、どうかたくさんの方々はこの学びの機会を体験していただきたいです。

多様な指導技術の数々を丁寧に惜しみなく教えてくださった、香遠先生、坂井先生をはじめ、子どもたち、保護者の皆様、学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

